
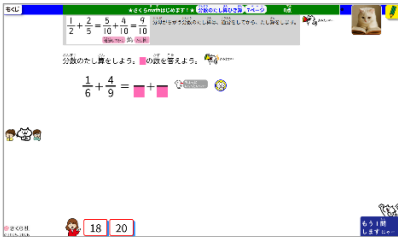
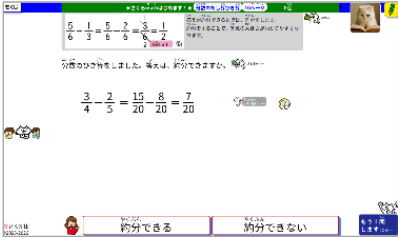


付けたい力

- ・通分して、異分母分数のたし算（ひき算）を速く正確に計算する。
- ・答えを約分して、異分母分数のたし算（ひき算）を速く正確に計算する。

学習活動	指導上の留意点
<p>1 復習問題を解いて、既習事項を確認する。 T：この問題を計算しましょう。</p> <p>2 めあてを確認する。 T：今日は、これまで学習してきた分数同士のたし算とひき算の計算を速く正確に計算できるようになることが目標です。</p>  <p>T：目次の画面を見ましょう。</p> <p>3 学習の進め方を知り、見通しをもつ。 T：7ページから始めます。</p>  <p>T：5問正解したら、次のページへ進みます。 T：10ページの問題が5問できたら、自分で学習の進め方を選びましょう。</p>  <p>*<さくら math>で苦手な問題を復習。 *教科書の問題をノートに解く。 *ドリルの問題をノートに解く。</p> <p>3 各自で、問題を解く。</p> <p>4 本時のまとめ、ふりかえりをする。 T：今日の感想を発表しましょう。</p>	<p>1 前時までに学習した、異分母分数のたし算とひき算（5巻・分数のたし算とひき算7～10ページ）の問題を順に提示していく。 ・テンポよく、2問ずつ程度を一緒に解く。</p> <p>2 めあてを板書する（または、大型モニタ等で提示する）。 ・5巻・分数のたし算とひき算の目次ページを大型モニタ等で提示して、本時の学習内容を確認する。</p> <p>3 指示が終わった後、タイマーを設定して、終了時刻を明示する。 ・机間巡視をして、全員が7ページの問題を始めたことを確認する。児童の様子を見て助言や励まし、賞賛をする。 ・「ちょっといいたいにゃー」や、青丸ボタンをクリックすることを助言する。 ・通分でつまづいている児童は6ページの問題を復習するように指示する。 ・約分でつまづいている児童は4ページの問題を復習するように指示する。 ・単元を通して、ノートに分数の計算をする時は、分母と分子の数字はそれぞれ1マスに書くこと、マスとマスの境に引く横棒（括線）は定規で引くことを徹底する。 ・時間に余裕があれば、最後に全員でもう一度問題を解いて、達成感を共有する場面を設ける。</p> <p>4 児童の発言を肯定的に受け止める。 ・次の時間は、帯分数のたし算とひき算を学習することを予告する。</p>